

2011097

研究内容説明書  
単施設研究用

## 研究協力のお願ひ

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名：側方進入椎体間固定術の合併症データベース構築に関する研究
<b>1. 研究の対象</b> 2016年1月から2020年12月まで当院で側方侵入椎体間固定術の治療を受けた方
<b>2. 研究目的・方法</b> 側方進入椎体間固定術（神経を圧迫している部分を切除した後、患者さん自身の骨（移植骨）や人工骨を挿入して固定術）は近年注目されている手術方法ですが、その合併症などの発生率の国内での集約された報告はありません。今回学術集会が主体となって全国の現状を集約し今後の医療に貢献する研究を致します。 本研究は学術研究であり、側方進入椎体間固定術を施行した患者さんのデータを利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「9. 診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。 <b>研究期間</b> 昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから 2022年12月31日まで
<b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b>  年齢、性別、治療経過、
<b>4. お問い合わせ先</b>  本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 整形外科 氏名：大下優介

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎 35-1 電話番号：045-949-7000

研究責任者：

所属：昭和大学横浜市北部病院 整形外科 研究責任者：大下優介